

2023年2月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2022年11月、12月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概要

全国景気*	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
11月の生産動向	生産は足踏みがみられる
12月の個人消費	乗用車新車販売は4カ月ぶりに前年を下回る
12月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を下回る
12月の住宅投資	新設住宅着工戸数は4カ月ぶりに前年を上回る
12月の雇用情勢	有効求人倍率は3カ月ぶりに前月を下回る
今後は、新型コロナウイルス感染拡大や物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2023年1月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

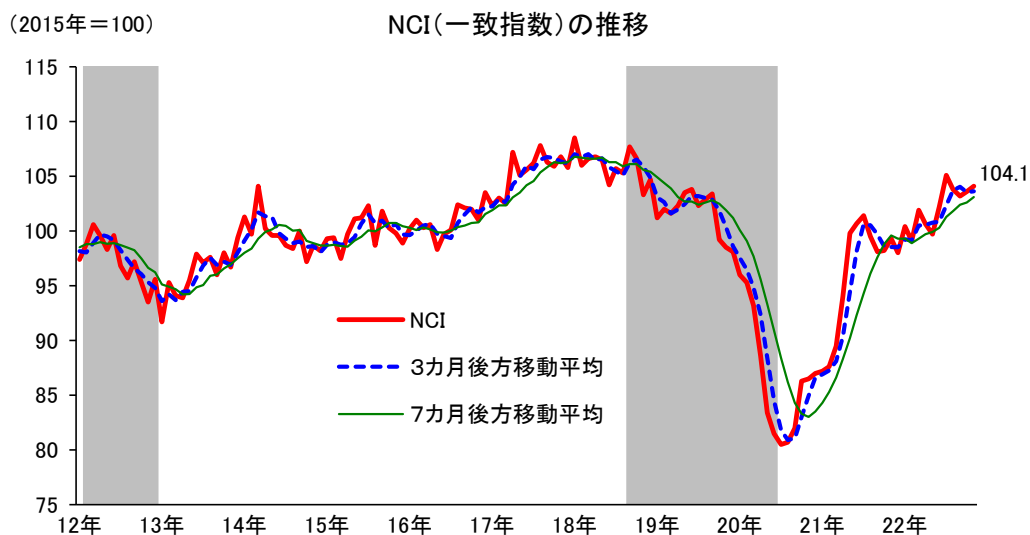
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

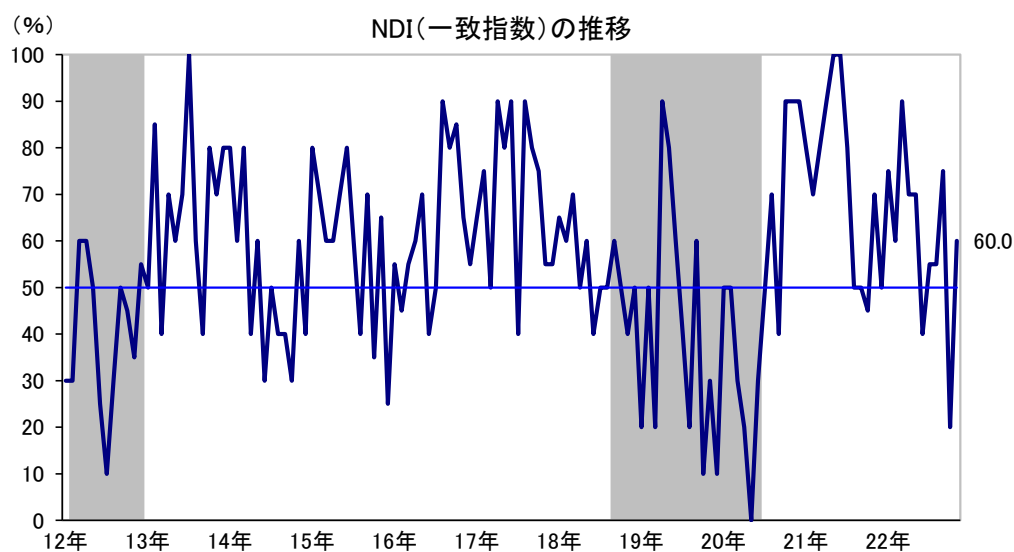


景気動向指数

- ・11月のNCI(一致指数)は、104.1と前月と比較し+0.5ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.1ポイントと2カ月ぶりに上昇し、7カ月後方移動平均は同+0.5ポイントと9カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、60.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を2カ月ぶりに上回った。



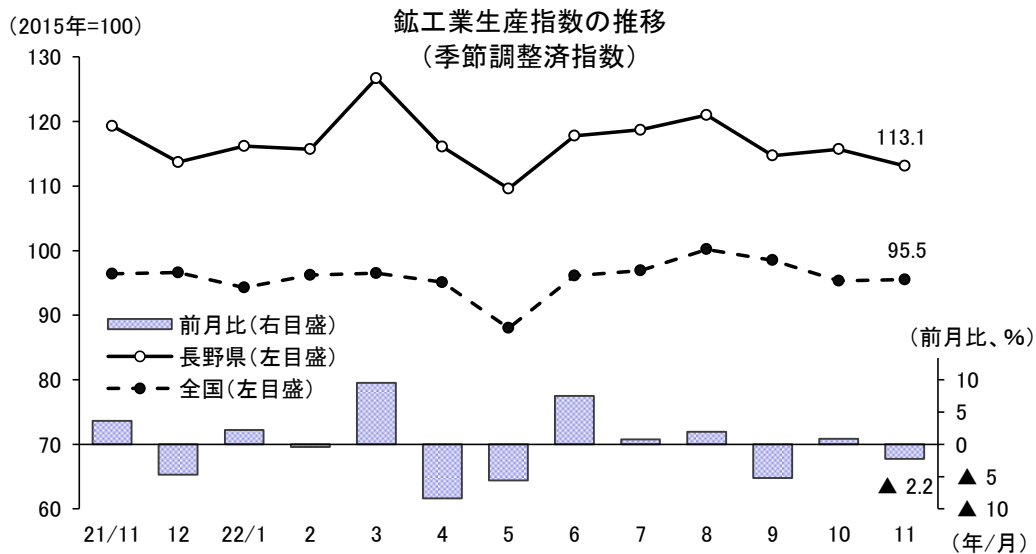
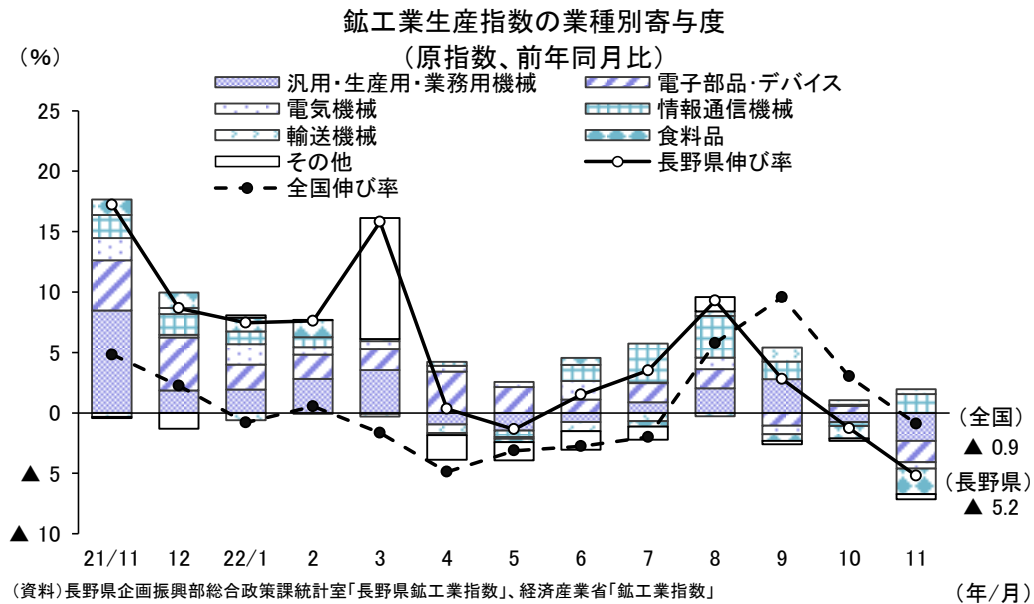
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

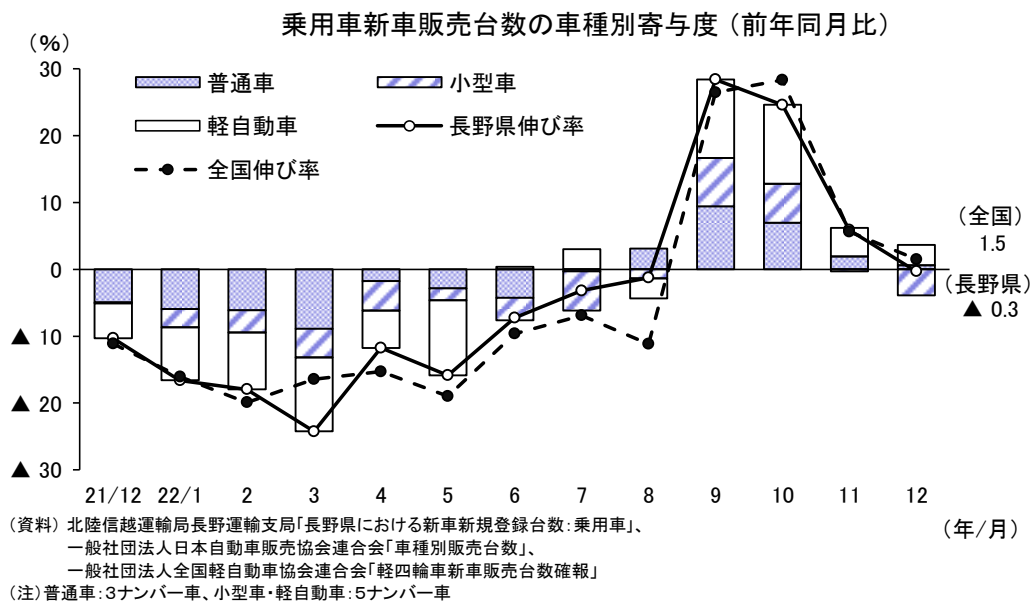
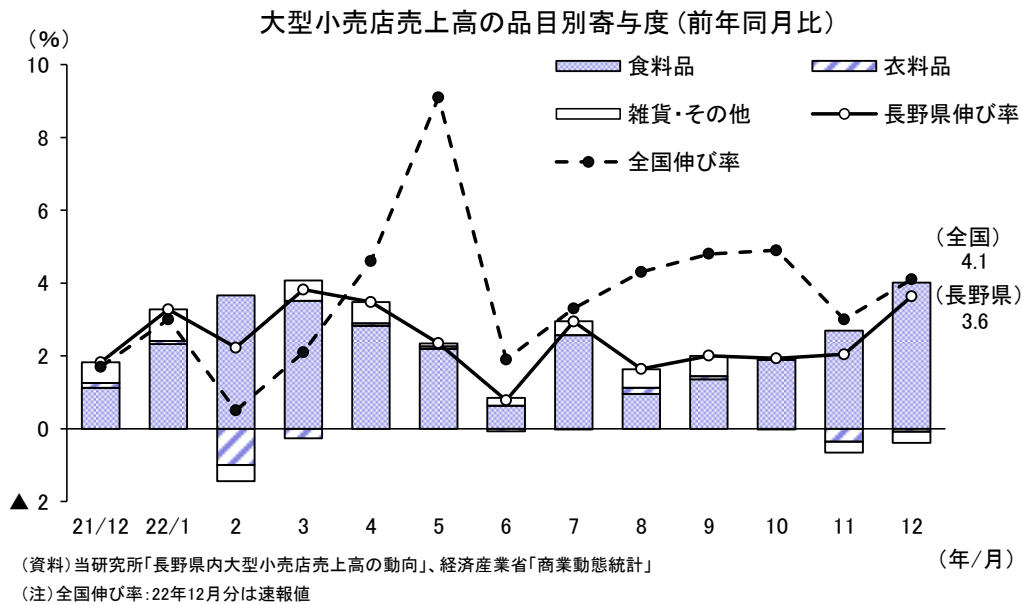
生産は足踏みがみられる

- ・11月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△5.2%、季節調整済指数が前月比△2.2%となった。
- ・原指数は2カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の減少の影響から、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「汎用・生産用・業務用機械」、「電子部品・デバイス」、「電気機械」などが前年を下回った。



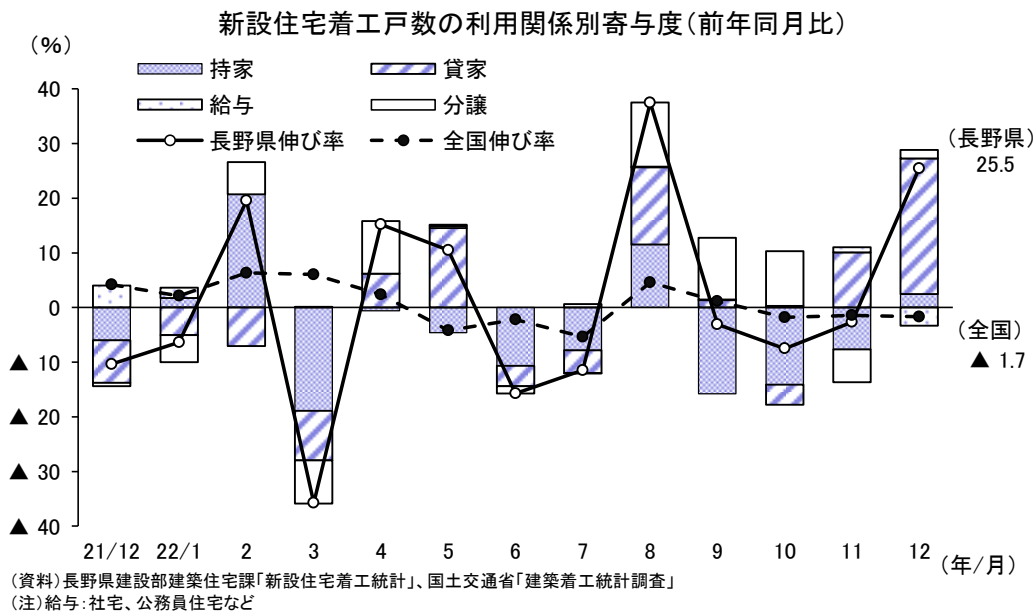
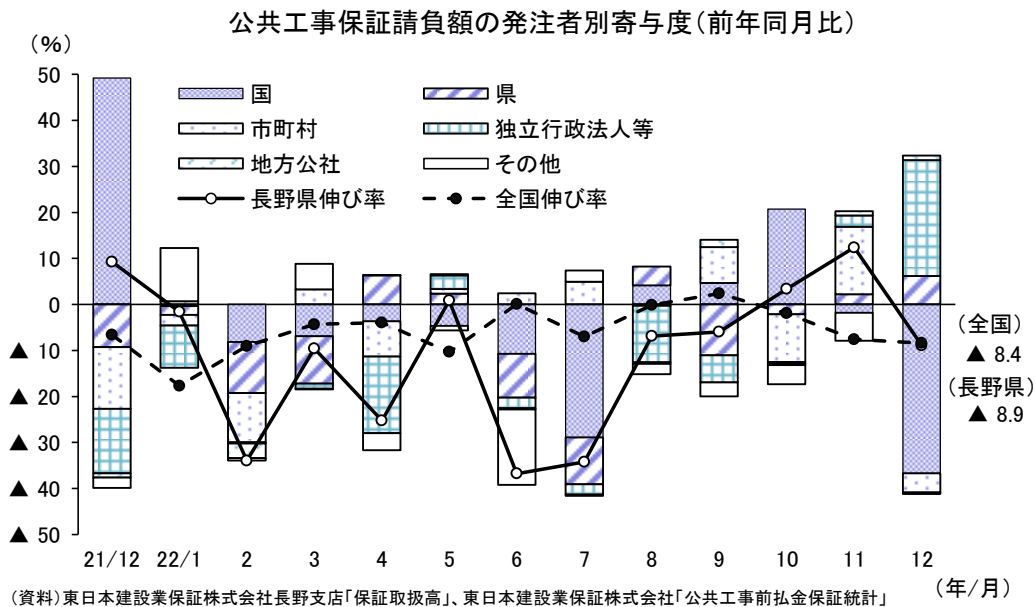
乗用車新車販売は4カ月ぶりに前年を下回る

- 12月の大型小売店売上高は、前年同月比+3.6%（売場面積調整前）となり、15カ月連続で前年を上回った。食料品は、販売価格の上昇やクリスマス・歳末商品などの売り上げ増加により、同+4.7%となった。衣料品は、冬物が振るわず、同△1.6%だった。雑貨・その他は、化粧品や宝飾品などが低調で、同△3.1%だった。
- 12月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善しているものの、なお解消には至っておらず、前年同月比△0.3%と4カ月ぶりに前年を下回った。普通車は同+1.9%と5カ月連続で、軽自動車は同+7.2%と4カ月連続で前年を上回ったものの、小型車は同△15.3%と2カ月連続で前年を下回った。



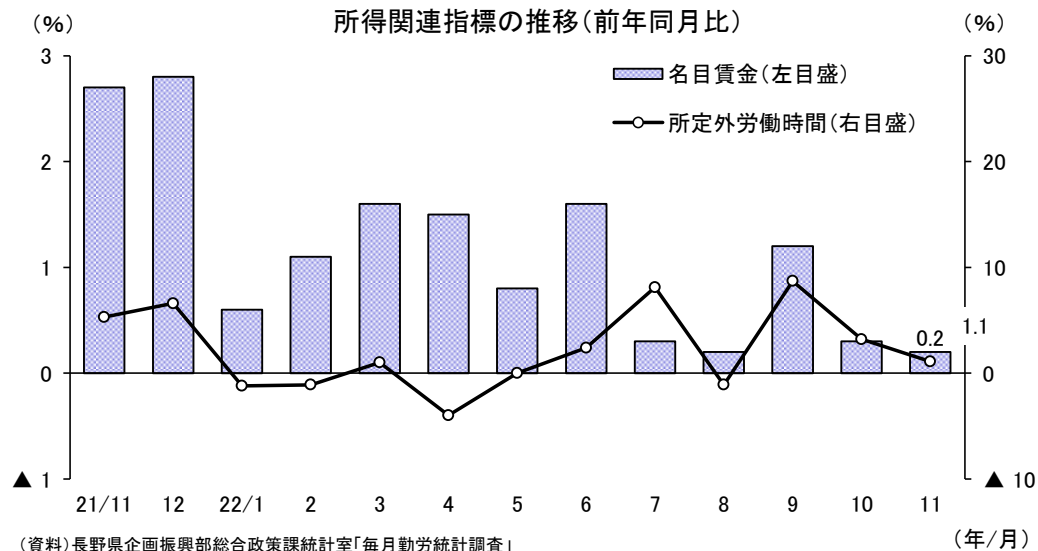
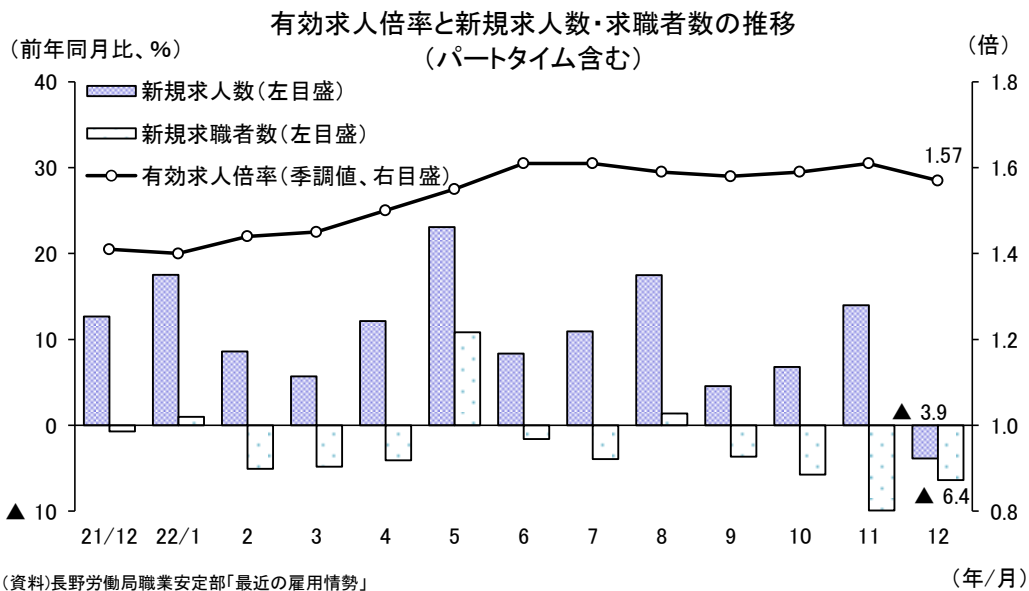
公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を下回る

- ・12月の公共工事保証請負額は、前年同月比△8.9%の115億4,100万円となり、3カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、県が同+29.5%、独立行政法人等が同+975.1%、地方公社が同+370.0%と増加したものの、国が同△71.7%、市町村が同△17.2%、その他が同△35.8%と減少した。
- ・12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+25.5%の1,118戸と4カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、給与が同△75.0%と減少したものの、持家が同+3.8%、貸家が同+155.6%、分譲が同+10.4%と増加した。



有効求人倍率は3カ月ぶりに前月を下回る

- ・12月の有効求人倍率は、前月比△0.04ポイントの1.57倍と、3カ月ぶりに前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△3.9%となり、22カ月ぶりに前年を下回った。このうち常用は同△0.7%、パートは同+3.0%となった。主要産業別では、卸売業・小売業が同+9.8%、宿泊業・飲食サービス業が同+7.5%、医療・福祉が同+1.3%、建設業が同+0.7%と前年を上回ったが、製造業が同△11.9%と前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△6.4%と4カ月連続で前年を下回った。
- ・11月の名目賃金は前年同月比+0.2%と19カ月連続で前年を上回り、所定外労働時間は同+1.1%と、3カ月連続で前年を上回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

20カ月連続で4地域とも前年を上回る

- ・12月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比+0.12ポイントの1.64倍、東信が同+0.15ポイントの1.74倍、中信が同+0.31ポイントの1.76倍、南信が同+0.15ポイントの1.67倍となり、20カ月連続で全ての地域で前年を上回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、全ての職業安定所で前年を上回った。
- ・長野県の有効求人倍率は27カ月連続で全国を上回り、順位は前月から3つ下げ11位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(22年12月)

地域	北 信(1.64) (前年同月比0.12)				東 信(1.74) (前年同月比0.15)		中 信(1.76) (前年同月比0.31)			南 信(1.67) (前年同月比0.15)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.60	1.47	1.97	1.92	1.77	1.72	1.78	1.59	1.73	1.70	1.82	1.56
前年同月比 (ポイント)	0.08	0.03	0.35	0.37	0.18	0.12	0.32	0.10	0.40	0.16	0.23	0.10
うち常用	1.43	1.43	1.60	1.79	1.59	1.78	1.54	1.55	1.38	1.57	1.56	1.52
前年同月比 (ポイント)	0.13	0.04	0.27	0.33	0.30	0.13	0.31	0.03	0.24	0.17	0.16	0.13

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

